

令和 8 年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

高等学校・音楽 問題

「始め」という合図があるまで、このページ以外のところを見てはいけません。

注 意

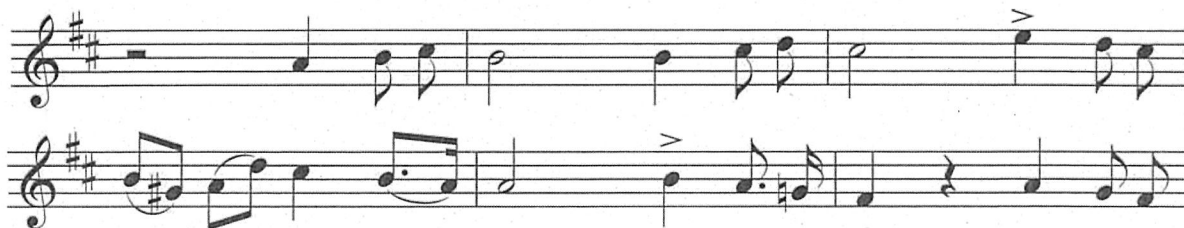
- 1 この問題は 7 問 3 ページで、時間は 60 分です。
- 2 解答用紙は、別紙で配付します。「始め」の合図で始めてください。
- 3 解答は、それぞれの問題の指示に従って解答用紙に記入してください。
- 4 「やめ」の合図があったら、すぐやめて係の指示に従ってください。
- 5 解答用紙を持ち出してはいけません。

高等学校 音楽

1 次の(1)～(5)に答えよ。

- (1) 「adagio」の用語の読み方と意味を記せ。
- (2) 「marc.」の用語の読み方と意味を記せ。
- (3) ギターを演奏する際に用いられる「ダイヤグラム」とは何か説明せよ。
- (4) 三味線における「勘所」とは何か説明せよ。
- (5) ハ音を根音とした属七の和音を全音符で記せ。

2 次は、ある楽曲の一部を示したものである。下の(1)、(2)に答えよ。



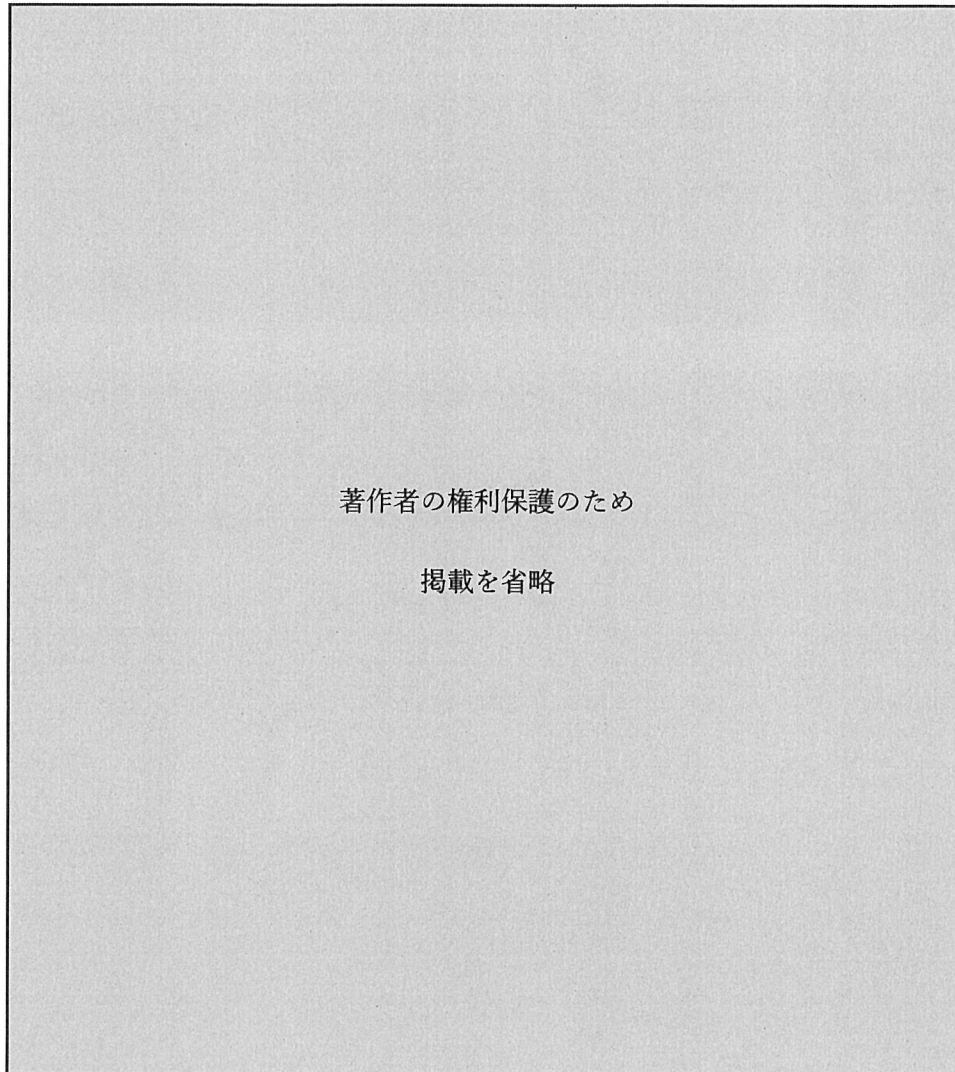
- (1) この楽曲の曲名を記せ。
- (2) この楽譜を変ホ長調に移調して記譜せよ。

3 次の世界の諸民族の音楽に関する(1)～(3)の問いに答えよ。

- (1) 北インドの代表的な弦楽器で、乾燥させた“ひょうたん”などの実のできた胴に棹がつけられており、演奏弦と共鳴弦が張られている楽器の名前を記せ。
- (2) アルプス地方で裏声と地声を交互に組み合わせる歌唱法を特徴とする音楽を何と呼ぶか記せ。
- (3) バリ島やジャワ島などインドネシア各地で行われている金属打楽器を中心としたアンサンブルを何と呼ぶか記せ。

- 4 解答用紙に示されたコード進行に合わせて，4分の4拍子，8小節のメロディーを創作せよ。
ただし，高校1年生が無理なく歌えることを想定して作曲すること。

- 5 次は，歌唱教材『この道』を示したものである。下の（1），（2）に答えよ。



- （1）この楽曲の作詞者と作曲者を記せ。
- （2）この楽曲を歌唱教材として扱うこととし，題材名を「言葉と音楽に着目して，表情豊かに歌おう」と設定した。
- ①この題材に基づいて生徒が主体的に表現意図を持つために，どのような授業のしかけが考えられるか，具体的に記せ。
- ②対話的な活動を通して歌唱表現をより深めるため，ICT を活用したい。具体的にどのような方法が考えられるか記せ。

6 次の(1), (2)に答えよ。

- (1) 次は、高等学校学習指導要領(平成30年告示)「第2章 各学科に共通する各教科 第7節 芸術 第2款 各科目 第1 音楽Ⅰ」の「1 目標」の一部である。①～⑤にあてはまることばを記せ。

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・(①)を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の(②)について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
- (2) 自己の(③)をもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
- (3) 主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を(④)する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や(⑤)を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

- (2) 高等学校学習指導要領の芸術科音楽における[共通事項](1)イにおいて、音楽を形作っている要素及び音楽に関する用語や記号などについて、どのように理解することとしているか、記せ。

7 次の(1), (2)に答えよ。

- (1) 音楽Ⅰにおいて、『交響詩「魔法使いの弟子」』を鑑賞教材として2時間の授業を計画する。
次の①～③に答えよ。

①この楽曲の作曲者を記せ。

②あなたが授業を行う場合、この教材において生徒に着目させたい音楽を形作っている要素は何か、授業のねらい(生徒に身に付けさせたい資質・能力)とともに記せ。

③ ②に基づいて、全2時間の授業の流れを記せ。

- (2) 音楽Ⅰにおいて、我が国の伝統音楽を題材とした単元を計画する。次の①～③に答えよ。

①あなたが表現(歌唱・器楽・創作のいずれか)と鑑賞を関わらせた授業を行う場合、どのような教材を設定するか、理由とともに記せ。

② ①に基づき、単元の目標を記せ。その際、「知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等」、「学びに向かう力、人間性等」について、それぞれ作成すること。

③ ②に基づき、単元の中でどのように評価を行うか記せ。

受検番号	
------	--

氏名	
----	--

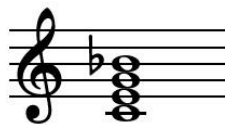
※	
---	--

----- 切り取らないこと -----

令和8年度採用 山梨県公立学校教員選考検査

※	
---	--

高等学校 音楽 解答例

<div>1</div> <div>15 点 (3×5)</div>	(1)	読み方： アダージョ	意味： ゆるやかに
	(2)	読み方： マルカート	意味： 一つ一つの音をはっきりと
	(3)	ギターの弦とフレットを図式化しコードの押さえ方を表したもの	
	(4)	左手で糸を押さえるときの正しい位置 (ポジション)	
	(5)		


<div>2</div> <div>8 点 (3, 5)</div>	(1)	曲名： Caro mio ben (カーロ ミオ ベン)
	(2)	

<div>3</div> <div>9 点 (3×3)</div>	(1)	シタール	(2)	ヨーデル	(3)	ガムラン
-----------------------------------	-----	------	-----	------	-----	------

4

5 点

C G/B Am Em/G



F C/E Dm G C

Detailed description: The image shows a musical score for a 4-measure piece in 4/4 time. The melody is written on a single staff in treble clef. The chords are indicated by letters above and below the staff. The first measure has a C chord, the second has a G/B chord, the third has an Am chord, and the fourth has an Em/G chord. The melody consists of quarter notes in the first two measures and dotted half notes in the last two measures. The bass line is written on a single staff in treble clef. The chords are indicated by letters below the staff. The first measure has an F chord, the second has a C/E chord, the third has a Dm chord, and the fourth has a G chord. The melody consists of quarter notes in the first two measures and dotted half notes in the last two measures.

(裏面に続く)

高・音楽 2

5	(1)	作詞者名： 北原白秋	作曲者名： 山田耕筰
	(2)	<p>① 歌詞の抑揚と旋律、歌詞のイメージと曲想のように、言葉と音楽の諸要素との関わりに着目したテーマを各自で設定する。歌詞を朗読したり、旋律を口ずさんだりしながらワークシートに分析し、他の生徒と共有する。グループで、歌詞の持つ味わいをどのように歌うとより豊かに表現できるか試しながら歌ったものを録音し、互いに聞き合いながら意見交換を行う。</p> <p>② ICT 端末を用いて歌詞について調べ、歌詞の解釈や味わいをクラウドサービスやアプリケーションを通じて他の生徒と共有する。</p> <p>グループで ICT 端末を用いて、歌唱を録音して聞き直すことを繰り返しながら、様々な工夫を試して、表現意図にあう歌唱表現を見つける。</p>	

6	(1)	① 考え方	② 多様性	③ イメージ	④ 愛好	⑤ 社会
	(2)	音楽における働きと関わらせて理解すること。				

7	(1)	① デュカス
		<p>②音楽を形作っている要素： 音色</p> <p>ねらい： 管弦楽の音色を知覚しその働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりを考えたり、音楽の構造との関わりを理解したりできるようにする。</p> <p>③ オーケストラの特徴について学び、様々な楽器の音色に興味を持たせる。楽曲全体を聴いて感想をまとめる。複数の場面を取り出して比較鑑賞しながら、音色の違いとその効果についてグループでワークシートにまとめる。最後にもう一度楽曲全体を聴いて、気づいたことや感じたことについて他者と対話する。</p>
	(2)	<p>①教材： 歌舞伎「京鹿子娘道成寺」</p> <p>理由： 鑑賞を通して歌舞伎の特徴を理解するとともに、作品に登場する長唄の一部を歌唱することで、より深くよさや美しさ味わうことにつなげる。</p> <p>②知識及び技能： 我が国の伝統音楽の種類と特徴について理解するとともに、表現形態の特徴を生かして歌う技能を身に付けるようにする。</p> <p>思考力、判断力、表現力等： 自分や社会にとっての音楽の意味や価値を考え、音楽のよさや美しさを深く味わって聴くことができるようにする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等： 主体的・協働的に表現と鑑賞の活動に取り組み、音楽文化を尊重する態度を養う。</p> <p>③ 各観点について評価規準を作成し、評価の場面と評価方法（ワークシート、発表、観察）を計画する。学習の過程で観点別学習状況の評価を行い、生徒の学習改善や教師の指導改善につなげる。単元のまとまりで総括する。</p>